

自然
×
便利

自然のやさしさと、
暮らしの快適さを

海と田園が近くにある風景は、
季節ごとに表情を変え、
忙しい日でもふっと心を休めてくれます。
自然のやさしさと、
生活の便利さが無理なく寄り添う—
そんなちょうどいい暮らしが広がっています。



香南市は、自分に合った暮らしを選びやすい環境です。ほどよく便利な市街地で暮らすことも、静かな山あいで四季に寄り添うように過ごすこともでき、日々の空気感やリズムに合わせて住み方が選べます。

市街地にはスーパーやドラッグストアなど日常生活に便利な店舗がコンパクトに集約されており、さまざまな個人商店もあります。食品や生活用品の買い足しなど用途に合わせて選べる店舗がそろい、家庭ごとのペースで生活を整えられる環境となっています。

医療面では、総合病院1施設と各科のクリニックが市内に分散し、幅広い世代が安心して受診できる環境があります。いざという時にも頼れる体制が、地域で暮らす安心感を支えています。

また、移動の便利さも香南市での暮らしやすさの大きな特徴です。土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線や路線バス、市営バスが市内を走り、通勤通学や日々の買い物、通院などを支えています。

車での移動も快適で、高知東部自動車道の利用により、広い範囲へ行き来しやすくなっています。さらに高知龍馬空港にも近く、旅行や帰省もしやすい環境となっており、人々の移動を幅広く支えています。

住民との連携
共助の輪を広げ、訓練で備える

巨大災害時には、行政支援に加え、住民同士の助け合いである「共助」がとても重要です。香南市では地域ごとに自主的な防災活動として、住民同士が協力して避難訓練やハザードマップを活用した対策を行っています。さらに、毎年実施される総合防災訓練では、消防本部や警察署といった関係機関と協力し、実践的な訓練を通じて、防災意識と共助の体制を強化しています。

津波避難タワーと
海岸保全の取り組み

津波に備えるためのインフラ整備を進めています。特に沿岸部では、迅速な避難を可能にするため、23基の津波避難タワーを設置しています。このタワーがあることで、住民の安全確保に大きな役割を果たしています。

また、これから、香南市沿岸（吉川海岸、赤岡海岸、岸本海岸）では、海岸保全施設整備事業として、国の直轄施行による地震・津波対策が実施されます。これにより、津波被害の軽減や避難のための時間確保が期待されます。

防災

今、そして
未来を
「守る」



香南市は、南海トラフ地震による津波の影響を大きく受けることが想定されている地域です。
この大規模な災害に備え、香南市では「自分の命は自分で守る」という自助の意識を基本に、地域での共助、そして行政による公助を組み合わせた防災体制を強化しています。
この三つの力が一体となり、地域の早期復旧・復興を支える基盤となっています。

